

漢方製剤・生薬製剤・生薬用語の英語表記（第1集）の訂正

No.	日本語	誤	正
	(英文タイトル)	Recommended Terminology <u>on</u> Kampo Products, Conventional Crude Drug Products and Crude Drugs	Recommended Terminology <u>for</u> Kampo Products, Conventional Crude Drug Products and Crude Drugs
	(参考文献 7) のリンクアドレス)	記載なし	(http://www.who.int/medicinedocs/index/assoc/s14878e/s14878e.pdf).
	(参考文献 9) のリンクアドレス)	http://www.emea.europa.eu/pdfs/human/hmpc/21486906en.pdf	http://www.emea.europa.eu/pdfs/human/gwp/282000en.pdf
1	漢方処方	(解説) 漢方の考え方による生薬の組み合わせ (レシピ) を指す場合に用いる。処方全体を示す場合は <u>Kampo formulae を用いる</u> 。	(解説) 漢方の考え方による生薬の組み合わせ (レシピ) を指す場合に用いる。処方全体を示す場合は <u>Kampo formulae または formulas を用いる</u> 。
3	エキス剤, エキス製剤	(英語表記) <u>Extract</u>	(英語表記) <u>extract</u>
15	漢方エキス顆粒 漢方エキス錠 漢方エキスカプセル	(解説) Kampo extract formulation が顆粒や錠剤, カプセル剤であることを強調したい時に用いる。	(解説) Kampo extract formulation が顆粒や錠剤, カプセル剤であることを強調したい時に用いる。 <u>総称で使う場合には複数形にする</u> 。
17	医療用漢方製剤	(解説) 医師が処方する漢方製剤。一般的には Kampo formulation for prescription の方が欧米では理解されやすいが、 <u>現在、わが国の薬事法では漢方製剤は処方箋薬ではないことから、正確に表現すると ethical Kampo formulation となる</u> 。	(解説) 医師が処方する漢方製剤。一般的には Kampo formulation for prescription の方が欧米では理解されやすいが、 <u>ethical Kampo formulation もほぼ同義である。一方、現在、わが国の薬事法では漢方製剤は処方箋薬ではないので、厳密にはこれらの表現は正確ではない</u> 。
25	薬用植物	(解説) WHO guidelines では, herb は木本も含むと定義しているが, herb は “any seed-bearing plant which does not have a woody stem and dies down to the ground after flowering” の意味であり (<u>Oxford English dictionary</u>), 木本の樹皮等が含まれなくなるため medicinal herb は厳密には間違いである。	(解説) WHO guidelines では, herb は木本も含むと定義しているが, herb は “any seed-bearing plant which does not have a woody stem and dies down to the ground after flowering” の意味であり (<u>The Oxford English Dictionary</u>), 木本の樹皮等が含まれなくなるため medicinal herb は厳密には間違いである。

55	日本薬局方外生薬規格 (局外生規)	(英語表記) non-JP crude drug <u>standard</u> (解説) “The Japanese standards for herbal medicines” には局外生規のことを The Japanese herbal medicine codex (JHMC) として紹介しているが、通常、外国人に局外生規を説明するには non-JP crude drug <u>standard</u> の方が理解させ易い。局外生規には herbal medicine 以外の動物生薬も含まれており、こちらの方が正確である。さらに厚生省薬務局監視指導課監修の文献 10) では、局外生規のことを Standards for non-pharmacopoeial crude drugs (non-JP crude drug standards) と英訳している。なお、文字数に余裕があるときは The Japanese herbal medicine codex (non-JP crude drug <u>standard</u>) とすることも推奨する。	(英語表記) non-JP crude drug <u>standards</u> (解説) “The Japanese standards for herbal medicines” には局外生規のことを The Japanese herbal medicine codex (JHMC) として紹介しているが、通常、外国人に局外生規を説明するには non-JP crude drug <u>standards</u> の方が理解させ易い。局外生規には herbal medicine 以外の動物生薬も含まれており、こちらの方が正確である。さらに厚生省薬務局監視指導課監修の文献 10) では、局外生規のことを Standards for non-pharmacopoeial crude drugs (non-JP crude drug standards) と英訳している。なお、文字数に余裕があるときは The Japanese herbal medicine codex (non-JP crude drug <u>standards</u>) とすることも推奨する。
59	自主基準	(英語表記) self-imposed <u>standard</u> , self-imposed limit	(英語表記) self-imposed <u>standards</u> , self-imposed limit
60	社内基準	(英語表記) in-house <u>standard</u>	(英語表記) in-house <u>standards</u>
62	蘭方	(解説) 江戸時代に伝わった西洋医学で、漢方と対をなす言葉。漢方の歴史を表現する場合にのみ Kampo と対にして用い、それ以外は用いない。言葉の注釈としては <u>western</u> medicine を用いる。	(解説) 江戸時代に伝わった西洋医学で、漢方と対をなす言葉。漢方の歴史を表現する場合にのみ Kampo と対にして用い、それ以外は用いない。言葉の注釈としては <u>Western</u> medicine を用いる。
66	東洋医学	(英語表記) <u>oriental</u> medicine	(英語表記) <u>Oriental</u> medicine
71	西洋医学	(英語表記) <u>western</u> medicine	(英語表記) <u>Western</u> medicine